

イノベーションへむけた『組織文化』をつくりこむ 戦略的技術マネジメント

～ R & D現場における実践手法と経営者・管理者の役割 ～

《開催要領》

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2018年 11月19日(月) 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京: 麹町)

《ご参加頂きたい方》

ものづくり企業・技術系企業の経営者、CTO、研究開発部門長、マネージャー、リーダー技術者・研究者、技術・開発企画部門長スタッフ

特に、下記の課題認識をお持ちの方

- R & Dのイノベーションを生み出す力を高めたい / ■ 技術者、研究者のイノベーションマインドを高めたい
- 組織・分野の壁を越えた技術者、研究者の協働を促進したい / ■ 新たな事業及び顧客価値につながるR & Dテーマを設定したい
- 自社の技術を可視化したい、棚卸したい、強み技術を特定したい

講師 株式会社ケミストリーキューブ 代表取締役 平木肇 氏

講師紹介
92年筑波大学を卒業、シャープ(株)入社。エンジニアとして先端電子デバイスの研究開発・製品開発・生産技術開発に取り組む。通産省(当時)主幹の次世代研究プロジェクトに参画。99年(株)日本能率協会コンサルティング入社。14年間にわたり、技術経営(MOT)、イノベーションマネジメント、研究開発(R & D)マネジメントを主領域としたコンサルティングに従事。2014年(株)ケミストリーキューブ設立。“技術人材の知恵を、価値を創り出す力に変える”をコンセプトとして、ものづくり企業・技術系企業の技術力・価値創造力の強化と人材の開発を支援している。



《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 41,040円(本体価格 38,000円) 一般 45,360円(本体価格 42,000円)

181269-1010 (※) イノベーションへむけた『組織文化』をつくりこむ戦略的技術マネジメント

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■ 申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。(TOP)→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■ お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

・プログラム・

■開催にあたって■

現在、ものづくり企業・技術系企業のR & Dでは、新技術の探索・企画活動、テーママネジメントの仕組みづくり、MOT(Management Of Technology)人材の教育研修など、イノベーションを生み出す力を高めるための取り組みを進めています。しかし、一方でイノベーションに取り組むうえで必要な組織文化が十分醸成されていないことが障害となり、思うような成果につながっていない例も見られます。組織文化は、企業及び組織のなかに形成された固有の価値観や規範で、一人ひとりの技術者、研究者の思考や行動に大きな影響を与えます。本セミナーでは、株式会社ケミストリーキューブが開発した戦略的技術マネジメントの実践手法を交えながら、イノベーションへの取り組みを促進する組織文化を R & D 現場のなかにいかにつくりこむかについて解説したいと思います。

1. イノベーションへむけたR & Dへの期待と現場の悩み

- (1) ものづくり企業・技術系企業を取り巻く変化
- (2) イノベーションとは価値の創造と具現化
- (3) 変化するR & Dの役割
- (4) 現場の現実と悩み
- (5) R & D自己革新へむけて

2. 組織文化の重要性

- (1) 組織文化は重要な経営資源
- (2) 組織風土は過去によってつくられ、組織文化は未来へむけてつくる
- (3) 組織文化づくりは経営者・管理者の役割
- (4) イノベーションを促進する組織文化、阻害する組織文化
- (5) 組織文化は、スローガンや掛け声ではつくりだせない
- (6) 組織文化をアップグレードするためには、ありたい姿と意志が必要

3. 戦略的技術マネジメントとは

- (1) 技術マネジメントはなぜ難しいのか ～技術の多義性～
- (2) 技術の5階層モデル ～技術を捉える5つの次元～
- (3) 技術をいかに見える化するか ～技術の構造的化～
- (4) 技術を進化させる3つのアプローチ

4. 組織文化をつくる現場の取り組み

- (1) 組織文化づくりは「考え方」の改革
- (2) 経験学習の再構築 ～ダブルループ学習を現場に取り込む～
- (3) 経営と現場が運動した仕掛けづくり
- (4) フューチャーアイマップ(Future-iMap)活動の進め方
- (5) ワイガヤ ～本質的な問いを前向きに突き詰める～
- (6) 創発アプローチによる振り返り ～個人の気づきと組織の学び～
- (7) 経営者の役割は、評価ではなく支援

5. 実践事例の紹介

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。